

藤原大橋(耐候性鋼)の製作

Fabrication of FUJIWARA Bridge

川田工業㈱・四国工場

1. 工事紹介

藤原大橋は、愛媛県伊予三島市富郷町に架設される耐候性裸仕様の鋼逆ローゼ橋で、建設省四国地方建設局富郷ダム工事に伴って発注された。架設方法としてケーブルエレクション工法を計画している。

図-1 に一般図を示す。

2. 主要諸元

形 式：鋼逆ローゼ橋
橋 格：1等橋(TL-20)
橋 長：193.0m
支 間：26.5+138+27.5m
有効幅員：5 m
平面線形： $R=\infty$
縦断線形：0.2265%直線勾配
鋼 重：約650 t (うち川田製作分約342 t)

3. 施工概要

(1) 製作

製作に際しては、耐候性仕様であったためスカーラップを大きくとり、また水みちの生成のためにフランジに排水勾配を設けるなど、排水を十分に考慮して製作を行った。

近年、耐候性裸仕様の無処理が主流であるが、本橋は、架設完了後の初期の段階で安定錆を発生させることを目的として、錆安定化处理を計画している。

(2) 仮組立

仮組立は写真-1 に示すように、分割仮組立を行った。

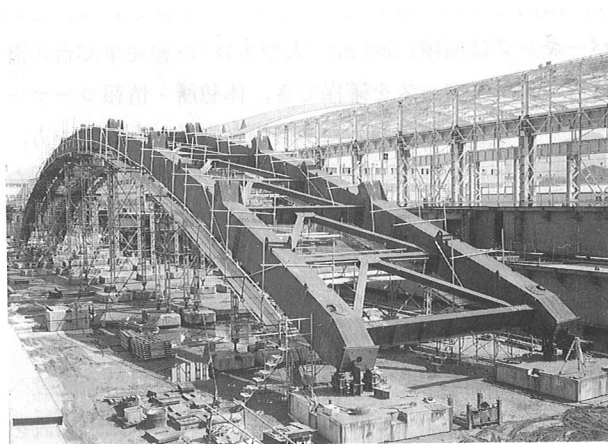


写真-1 アーチリブの仮組立状況

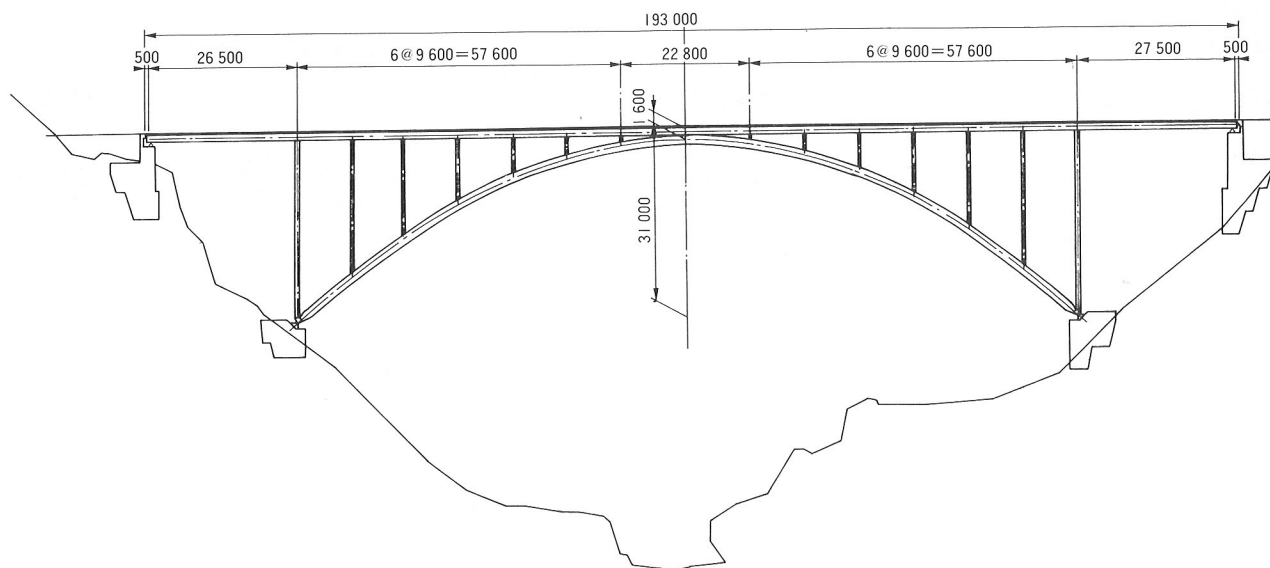


図-1 一般図

(文責・野田清之)